

校内研究グランドデザイン

曾於市立財部小学校

子供の実態

- 自分の考えを書くことが好き 5割
- 友達との話し合いが好き 7割
- ICTを活用した授業が楽しい 9割
- 振り返りで自分のできることが分かる 7割

【目指す学校像】

- 安心して学べ、子供の笑顔あふれる学校
- 学力定着が図られ、生きる力を育む学校
- 整理整頓が行き届き、美しく落ち着いた学校
- 地域から信頼され、地域に育まれる学校

【学校教育目標】
共に学びながら、自律できる子供を育てる

【目指す子供像】

- 主体的に課題に向き合い、表現できる子供
- 礼儀正しく、思いやりのある子供
- 体を鍛え、たくましい子供
- ふるさとを知り、ふるさとに学ぶ子供

社会的要請

- ・ 教育関係法規
- ・ 教育振興計画
- ・ 学習指導要領
- ・ 県、市学校教育の指針
- ・ 保護者・地域の願い

【目指す教師像】

- 豊かな人間性と協調性にあふれる教師
- 使命感と職責感に燃え、自己研鑽する教師
- プロ意識をもち、授業で勝負する教師
- 地域と協働し、地域を愛する教師

【研究主題】

学びの質を高め、学力向上につなぐ授業の創造
～自分の考えを表現することのできる子供の育成～

【研究の仮説】

仮説1 授業の協働学習の場において、子供一人一人が自分のペースを大事にしなが、共同で作成等を行う活動や多様な意見を共有しつつ合意形成を図る活動をしていくことで、子供たちが主体的に学習に取り組み、自分の意見を表現する力が高まるのではないだろうか。

仮説2 学びの足跡を振り返らせる時間を確保して、子供たちに自分ができるようになったことや変容等を言語で可視化させることで、学習のしかたを振り返ったり、学習する価値を実感できたりするのではないだろうか。

【共通実践事項～基礎基本定着のために】

- 財部スタンダード ○学習のきまり ○視点1と2の実践 ○一人一実践（授業）○音読
○各種分析の活用（NRT・全国学力学習状況調査・鹿児島学習定着度調査等）

視点1 協働的な場の充実・発展

- ◎「自分の考え→対話→自分の考え」の時間の設定
- 対話活動の充実（目的・手段の工夫）
 - ・対話しやすい雰囲気作り
 - ・授業導入時の教師の発問
 - ・協働の場を通しながら、自分の考えを深めたり広げたりしたことが分かるようなワークシートなどの作成（学習支援アプリなどの活用）
 - ・他教科でも生かせる話合いの取組

視点2 見通し・振り返り・見届け

- ◎学習のゴールの明確化（学習課題の提示）
 - ・子供が身に付けたことを説明したり、評価したりする場の設定（視点を明確にした振り返り）
 - ・子供に最適な学び方を自力で計画・実行できるような授業の組立
 - ・それぞれの子供の特性や変容の見届けの在り方の工夫